

戦 評

大会名	令和2年度 第1回岩手県中学校バレーボール選手権大会
-----	----------------------------

男子決勝

会場； 花巻市総合体育館

主審； 藤原 弘明

副審； 山根 寿

宮野目 2 { 25 - 21
25 - 14 } 0 下橋

試合時間 時間 44 分

戦 評

新人大会と同じカードとなった決勝戦。第1セットは宮野目が序盤から1番金田一、6番櫻田の強烈なスパイクにより大きくリードする。中盤以降、下橋は1番松浦のスパイク、4番川村のブロックで追いつけるも、宮野目5番上田がコースをついたスパイクを決めセットを先取する。

第2セットも序盤から宮野目1番金田一の打点の高いスパイクが次々と決まりリードを広げた。後が無い下橋は11番二階堂がネットの幅を広く使ったトス回しで宮野目のブロックを乱すも宮野目の堅い守備を崩すには至らず、宮野目がセットを連取した。宮野目は新人大会に続いて優勝し、本大会第1回目の優勝チームとなった。

※7～19行にまとめること

戦評者 手島 瑞夫

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会

戦 評

大会名	令和2年度 第1回岩手県中学校バレーボール選手権大会
-----	----------------------------

女子決勝

会場； 花巻市総合体育館

主審； 及川 晃弘

副審； 藤原 千一

胆沢 2 { 25 - 18
25 - 23 } 0 巖美

試合時間 時間 48分

戦 評

ここまで1セットも落とすこと無く勝ち上がってきた2校が、記念すべき第1回大会の優勝を目指した決勝戦となった。第1セット、胆沢は高いブロックで相手の強打を封じ、3番佐々木のスパイクによりリードを広げる。巖美も6番小岩のレシーブから5番阿部につなぎ差をつめる。しかし胆沢は2番石川と5番高橋による正確なトスからリズムを乱さず攻撃につなげセットを先取る。第2セットも流れをそのままに、胆沢6番及川の攻撃により序盤から大きくリードを広げる。巖美も4番佐藤のサービスエーズを含む10連続得点で粘りを見せ追い詰めるが、最後は胆沢5番高橋のスパイクが決まり優勝を手にした。

※7～19行にまとめること

戦評者 和田 充弘

岩手県中体連バレーボール専門部審判委員会